ISSN 2433-8192

国 際 禅 研 究

創刊号

2018 年 2 月

東洋大学東洋学研究所
国際禅研究プロジェクト

TOYO UNIVERSITY 東洋大学

国 際 禅 研 究

創刊号

2018 年 2 月

東洋大学東洋学研究所
国際禅研究プロジェクト

発刊の辞

平成 29 年 4 月、日本学術振興会の科学研究費助成事業の助成（基盤研究（A）、課題番号 17H00904「海外の研究者との連携による中国・日本における禅思想の形成と受容に関する研究」）を受け、研究分担者を初めとする多くの方々の御協力を得て、海外の研究者との連携のもと、禅宗文献、禅宗史、禅思想、禅文化等、禅に関わるあらゆる事柄の研究を推進するための研究組織として、東洋大学東洋学研究所内に「国際禅研究プロジェクト」を発足させることができました。

それ以来、「国際禅研究プロジェクト」では、この目的を果たすため、プロジェクトの各構成者が個別に研究に邁進するとともに、それを結合させ、更に大きな成果を生むべく、研究発表例会を開催してまいりました。また、海外の研究者と日本の研究者を結ぶ情報の結節点となることを目指して、海外の著名な研究者の方々をお迎えしての講演会を頻繁に開催して参りました。研究発表例会・講演会は、全て一般に公開されており、毎回多くの参加者を得て、熱心な討議が行われ、本プロジェクトの存在も徐々に知られるようになってきたことを実感しているところです。

本雑誌、『国際禅研究』は、こうした国際禅研究プロジェクトの活動を世に知らしめるとともに、プロジェクトとして世界の禅研究に寄与することを目指して刊行するものです。そのため、本雑誌には、本プロジェクトの各構成員の研究論文や公開講演会での海外の先生方の発表論文のみでなく、海外の注目すべき研究論文の翻訳や一般の研究者たちの投稿論文も掲載しております。本雑誌が世界中の禅研究者たちの情報交換の場となることを心から願ってやみません。

平成 30 年 1 月 21 日

国際禅研究プロジェクト代表

伊吹　敦

目　　次

発刊の辞

【記念講演】

伊吹　敦　禅研究の意義と国際的禅研究ネットワーク構築の必要性
—「武漢大学国際禅文化研究中心」と「東洋大学国際禅
研究プロジェクト」— …… 1

【文献研究】

樓　正豪　新たに發見された新羅入唐求法僧・惠覺禪師の碑銘 …… 15

【歴史研究】

舘　隆志　兀庵普寧の来日をめぐって
—南宋禅林における日中禅僧の交流— …… 49

【思想研究】

伊吹　敦　初期禪宗と「般若經」 …… 75

ステファン・グレイス　鈴木大拙の現代仏教に対する批判 …… 95

「国際禅研究プロジェクト」活動報告

投稿要領

【文化研究】

原田香織　狂言『左近三郎』における禅風問答と戒律 …… 75

【思想研究】

齋藤智寛　『付法蔵伝』の主張とその受容
—大住聖窟二十四祖像を例として— …… 57

【文献研究】

通　　然　新出金沢文庫残欠本『破相論』の本文紹介、ならびに、
日本・朝鮮所伝『観心論』（破相論）諸本対校 …… 1

投稿要領

本プロジェクトでは、毎年二月に研究雑誌『国際禅研究』を発行します。つきましては、この雑誌に掲載する論文を広く一般から公募します。投稿要領は次の通りです。奮ってご応募ください。

応募資格：なし。
内　　容：禅宗に関連し、かつ、学術的価値が高いもの（査読の上、掲載・非掲載を判断する）
使用言語：日本語・英語・中国語（英語・中国語の場合、原文に併せて、こちらで訳した日本語訳を掲載する予定です）
分　　量：日本語 20000 字以内・英語 11000 ワード以内・中国語 14000 字以内
提出期限：毎年 10 月 31 日（提出期限を過ぎたものは、次号の掲載対象となる）
提出方法：住所氏名・所属を明記の上、MS-Word、または PDF 形式の添付ファイルの形でお送りください。

※この件に関するお問合せ、原稿提出先は以下の通りです。
kokusaizenkenkyuproject@gmail.com

国際禅研究　創刊号

平成 30 年 2 月 22 日印刷
平成 30 年 2 月 22 日刊行〔非売品〕

発行所　東洋大学東洋学研究所
国際禅研究プロジェクト
東京都文京区白山 5-28-20
電　話　03-3945-7401

印刷所　さとう印刷社
東京都文京区白山 1-19-16
電　話　03-3813-8521

＊本雑誌は学術振興会科学研究費助成事業の助成（基盤研究（A）、課題番号 17H00904「海外の研究者との連携による中国・日本における禅思想の形成と受容に関する研究」）の一環として刊行されました。

INTERNATIONAL ZEN STUDIES

Vol. 1 February 2018

CONTENTS

MEMORIAL LECTURE

IBUKI Atsushi : The Significance of Chan Studies and the Necessity for an International Network of Chan Studies: In Reference to the Research Institute for International Chan Culture of Wuhan University and the International Zen Research Project of Toyo University ····· 1

ARTICLES

LOU Zhenghao : Silla Zen Monk Hyegak's Epitaph in Tang China ····· 15

TACHI Ryushi : A Study of Wuan Puning Coming to Japan ····· 49

IBUKI Atsushi : The Prajñāpāramitā Sūtras in Early Ch'an Schools ····· 75

Stefan GRACE : D.T. Suzuki's Critique of Japanese Buddhism ····· 95

HARADA Kaori : A Study on the Kyōgen Performance *Sakono Samurō* from the Viewpoint of Zen Dialogue and the Precepts of Buddhism ····· 75

SAITO Tomohiro : The Argument of the *Fufazang-Zhuan* and its Acceptance: Focusing on the 24 Patriarch Statues of Dazhusheng Cave ····· 57

Tong Ran : Reprint of the Partial Text of *Poxianglun* Newly Discovered at Kanazawa Bunko and a Variorum Edition of *Guanxinlun (Poxianglun)* based on Variant Texts Extant in Japan and Korea ····· 1

The International Zen Research Project
The Institute of Oriental Studies
TOYO UNIVERSITY